

報道関係各位
プレスリリース

2017年11月8日

永江朗・いとうせいこうが語る 本から読み解く近代史 ～日本の時代をつくった本たち～

「暮らしの手帖」には戦後の主婦のライフスタイルが、『なんとなく、クリスタル』にはバブル前夜の若者文化が…本や雑誌は、その時代に生きる人々の様子を鮮明に映し出す鏡でもあります。本を通じて近代史を紐解くと、当時の人々の生活がよりリアルに感じられるのではないのでしょうか。明治のベストセラー『学問のすゝめ』が出版されてから145年経った今、これまでに出版された本を振り返りながら、日本の近代史と、当時の人々の思想や文化、その本が読まれた背景について紹介します。

講師

■ 永江朗 (フリーライター)

1958年生まれ。法政大学文学部哲学科卒業。西武百貨店系の洋書店「アール・ヴィヴィアン」に約7年勤務した後、「宝島」などの編集を経てフリーライターに。「哲学からアダルトまで」幅広いジャンルで活躍する。著書に『51歳からの読書術—ほんとうの読書は中年を過ぎてから』(六耀社)、『「本が売れない」というけれど』(ポプラ社)、『おじさんの哲学』(原書房)など。



■ いとう せいこう (作家・クリエイター)

1961年生まれ。東京都出身。1988年に小説『ノーライフキング』でデビュー。1999年、『ボタニカル・ライフ』で第15回講談社エッセイ賞受賞、『想像ラジオ』で第35回野間文芸新人賞受賞。音楽活動においては日本にヒップホップカルチャーを広く知らしめ、日本語ラップの先駆者の一人である。現在は、□□□(クチロロ)、レキシ、DUBFORCEで活動。その一方で、宮沢章夫、竹中直人、シティボーイズらと数多くの舞台・ライブもこなす。テレビのレギュラー出演に「ビットワールド」(Eテレ)、「オトナに!」(TOKYO MX)、「フリースタイルダンジョン」(テレビ朝日)などがある。



開催概要

- 日時：2017年12月14日(木) 19:00~20:30 (18:30開場)
- 会場：日比谷図書文化館 地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
- 定員：200名(事前申込順、定員に達し次第締切)
- 参加費：1000円(千代田区民500円 ※住所が確認できるものをお持ちください。)
- 申込方法：来館(1階受付)、電話(03-3502-3340)、Eメール(college@hibiyal.jp)いずれかにて、①講座名、②お名前(ふりがな)、③電話番号をご連絡ください。

〈お問い合わせ先〉

日比谷図書文化館 広報担当：中澤 nakazawa-hiroyuki@shopro.co.jp / 並木 namiki-yuri@shopro.co.jp
〒100-0012 東京都千代田区日比谷公園1-4 TEL：03-3502-3342 / FAX：03-3502-3341